

2018年6月1日
第3回企画委員会
資料-3

i-Constructionの普及・促進

✓ i-Construction大賞

- i-Constructionロゴマーク
- 「やりがい」向上

建設現場の生産性向上（i-Construction）の優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionを推進することを目的に、平成29年度、「**i-Construction大賞**」を創設

○i-Construction大賞の表彰対象・審査

前年度に完成した直轄工事を実施した団体を対象とし、地方整備局等からの推薦、省内に設置した『i-Construction大賞選考委員会（委員長：国土交通省技監）』における審議を経て、表彰団体を決定

■第1回表彰式（H30.2.15開催）



■第1回表彰団体（H29.12.11発表）

NO	表彰の種類	分野	企業名	工事名	工事担当地整等
1	国土交通大臣賞	道路	(株) 砂子組	道央圏連絡道路 千歳市 泉郷改良工事	北海道
2	国土交通大臣賞	道路	カナツ技建工業(株)	多伎朝山道路小田地区改良第12工事	中国
3	優秀賞	河川	(株) 小山建設	北上川上流曲田地区築堤盛土工事	東北
4	優秀賞	河川	金杉建設(株)	H27荒川西区川越線下流下築堤工事	関東
5	優秀賞	河川	会津土建(株)	宮古弱小堤防対策工事	北陸
6	優秀賞	道路	(株) 新井組	平成27年度中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事	中部
7	優秀賞	道路	中林建設(株)	第二阪和国道大谷地区道路整備工事	近畿
8	優秀賞	港湾	五洋・井森特定JV	徳山下松港新南陽地区航路(-12m) 浚渫工事	中国
9	優秀賞	河川	(株) 福井組	H27-28 川島漏水対策工事	四国
10	優秀賞	港湾	若築・あおみ特定JV	須崎港湾口地区防波堤築造工事	四国
11	優秀賞	砂防	(株) 野添土木	長谷川4号床固工・右岸導流堤工事	九州
12	優秀賞	道路	(株) 丸政工務店	平成28年度恩納南BP1工区改良(その13) 工事	沖縄

■第1回表彰団体の取組（例）



本社内の「ICT施工推進室」で現場をバックアップ【(株)砂子組】



地元企業中心のプロジェクトチーム“i-Con etc隊”を結成【カナツ技建工業(株) (アイコン イトトラ)】

○平成30年度の予定

昨今の取組の広がりを踏まえ、**地方公共団体発注工事や民間企業の独自の取組なども表彰対象とし、官民間問わず優れた取組の全国的な普及・展開を推進**

推薦整備局等	北海道開発局
推薦事務所	札幌開発建設部
工期	平成28年4月5日～平成29年2月15日
施工場所	北海道千歳市
請負代金額	319,032千円
業者名	株式会社砂子組



← 本社内の「ICT施工推進室」で現場をバックアップ



← 多くの見学会や取材に対応

【工事概要】

- 工事延長 L=480m
- ・掘削工 1,400m³
- ・盛土工 96,100m³
- ・切土法面整形
- ・盛土法面整形
- ・排水工 一式
- ・橋台工 1基



↑ UAV測定の検証を行い現場での実効性を確認



↓ MCバックホウによる盛土法面整形



↑ UAV測定の社内講習会

○本社内に専門部署として「ICT施工推進室」を設置し、ICT土工活用に関わる準備を一元化して現場に反映させることにより工事乗込み時の初動をスムーズに行うことや3次元データチェック及び修正を当該部署で行うことで、現場配属職員の負担を軽減した。

○全国第1号のICT土工活用工事として多くの見学会や取材(30回、約700名)に対応し、ICT土工の有用性を広めた。

推薦整備局等	中国地方整備局
推薦事務所	松江国道事務所
工期	平成28年3月18日～ 平成29年2月28日
施工場所	島根県出雲市多伎町小田地内
請負代金額	484,920千円
業者名	カナツ技建工業株式会社

【工事概要】

工事延長 L=600m

路体盛土V=140,600m³、土質改良V=100,600 m³、
埋土V=880m³、法面整形工1式、封じ込め対策工
V=12,800m³、法面工1式、擁壁工1式、石・ブロック積
(張)工1式、カルバート工1式、排水構造物工1式、
道路付属施設工1式、構造物撤去工1式、仮設工1式

○地元企業中心の体制で地元
業界のICT活用技術力を向上



➤ 元請自ら3次元設計データを作成

○ICT活用普及で現場の魅力を上



➤ 自治体・企業勉強会

➤ 若手技術者向け研修



➤ プロジェクトチーム“i-Con etc隊”
(アイコン エトセトラ)



➤ 地域住民見学会



➤ 女性技術者向け
講習会

○3次元設計・施工データの作成・活用を元請自らが主体的に実施するとともに、地元の測量設計機械土工業者、地域の測量機器取扱業者、専門企業であるソフトメーカーで編成するプロジェクトチームを設置するなど、地元業界のICT活用技術力向上や地域のICT活用普及に寄与。

○地方自治体、地元企業を招いた勉強会、地域住民への見学会、若手技術者研修や女性技術者向け講習会など、地域のICT活用普及とICT技術者・担い手育成に積極的に取り組み、ICT活用による現場の魅力アップに貢献

- ・ i-Construction大賞

- ✓ i-Constructionロゴマーク

- ・ 「やりがい」向上

i-Construction推進コンソーシアム企画委員会

10月5日

WG会員 一次アンケート

10月24日～

WG会員にアンケート → 3つの判断基準毎※の得票数と総得票数を踏まえ、下記9案より、A案、D案、E案、F案を選出 ※判断基準)“先進感”、“推進力”、“刷新力”



WG会員 二次アンケート

11月17日～

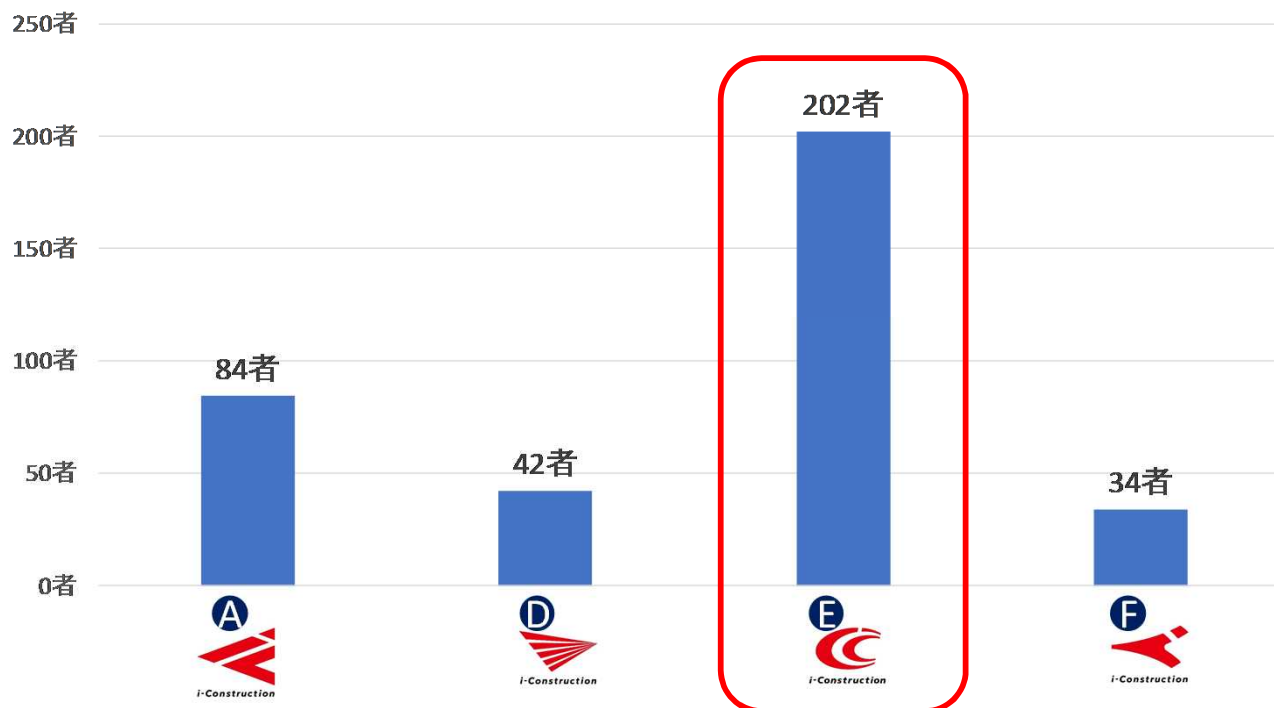
WG会員にアンケート → 二次アンケートにより、4案のうち、E案が最多得票

※5月25日商標登録 審査完了



大臣会見にてロゴマーク公表、使用開始 (予定)

6月1日



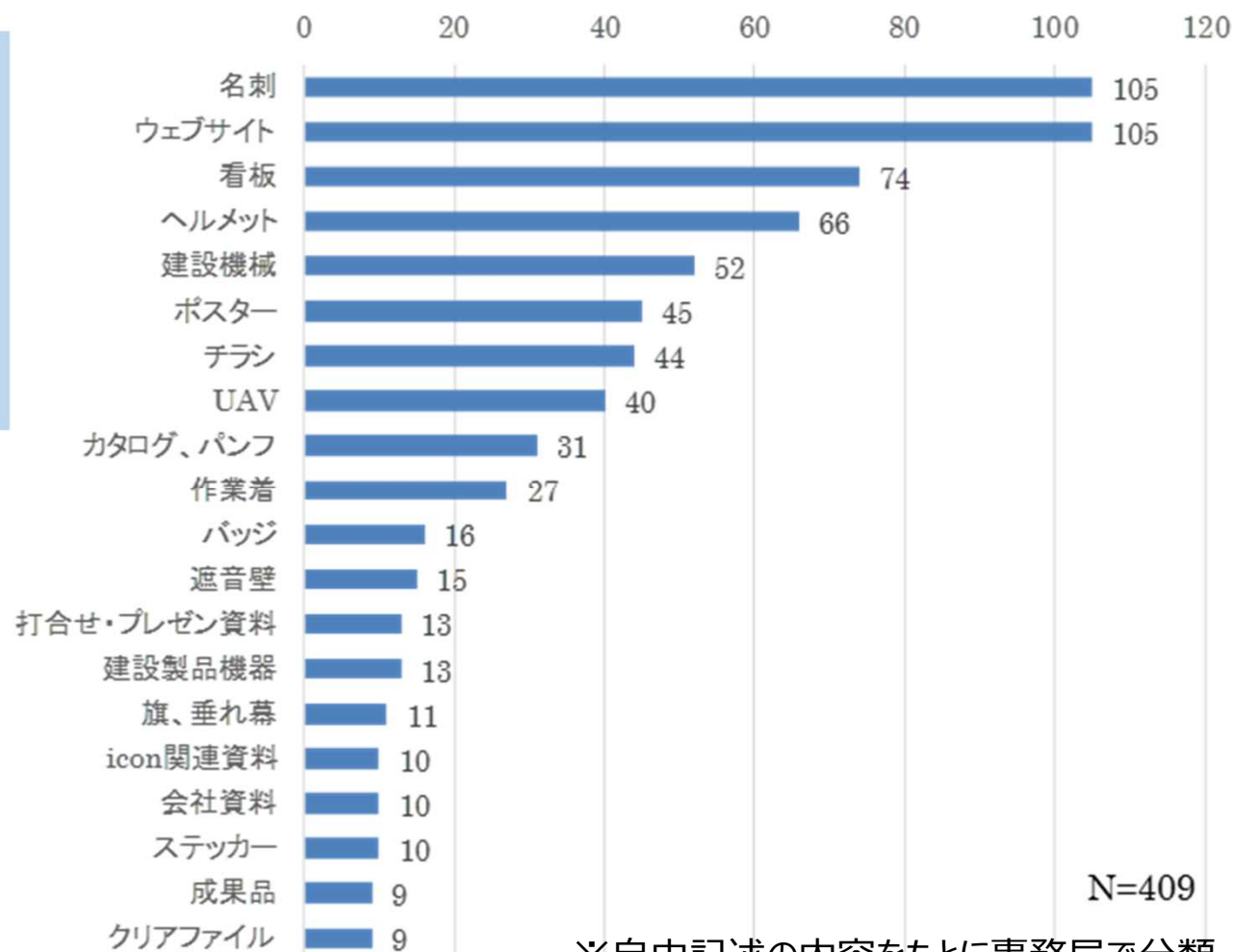
「革新的テクノロジーが、日本の建設現場を劇的に変えていく。
その原動力が、日本を次のステージへと押し進めていく。」
というデザインメッセージを
拡がりとスケール感のあるオーバル型の“iC”で表現。
赤は日本、誇りをイメージしています。

- ロゴマークを使用したいシーンに関する回答（自由記述）をシーン別に集計した。
- 最も活用したいシーンは「名刺」と「ウェブサイト」であり1/4を超える企業・団体から回答が得られた。
- その他、「看板」「ヘルメット」「建設機械」「ポスター」「チラシ」については10%を超える企業・団体から回答が得られている。いずれも事務局が例示した使用シーンであり、概ね想定通りの回答であった。

質問内容

→ロゴマークを使用したいシーンについて
ご提案ください（自由記述）

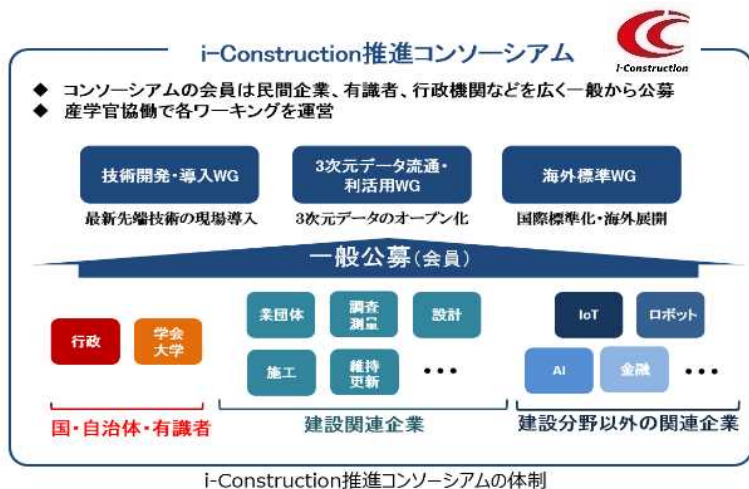
（例：ウェブサイト、建設現場の看板や遮音壁等、
UAVや建設機械等、ヘルメットや作業着、ポスター、
チラシ、名刺、バッジ、キーホルダー、クリアファイル等）



※自由記述の内容をもとに事務局で分類

ロゴマークの活用方法

- ロゴマークは下記のような活用シーンを想定
- ロゴマークの使用にあたって、事前の使用申請などは求めない



国土交通省
〇〇局 〇〇課

〇〇
国交 太郎

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8111(内線〇〇)
TEL: 03-5253-〇〇(直通)
FAX: 03-5253-〇〇
E-mail: 〇〇〇@milit.go.jp



- ウェブサイト、建設機械やUAV等、ヘルメットや作業着、建設現場の看板や仮囲い等、名刺、ポスター、チラシ、バッジ、キーホルダー、クリアファイル など

- i-Construction大賞
- i-Constructionロゴマーク

✓ 「やりがい」向上

建設分野で働く人々の「やりがい」や「存在の可視化」など、建設工事などに従事した人々の「誇り」を示す取り組みが一部で展開されている。

建設分野で働く人々の「やりがい」について広く一般向けに認識を高めるとともに、建設現場で働く人々の魅力を発信し、若手を対象として担い手の確保に寄与する取組みを促進する。

<取組みの事例>

- 現場で働く作業員のユニホーム(作業服)を統一化し、現場作業のイメージを一新
⇒全国建設業協同組合連合会
- コンクリート構造物等の銘板に、受注企業に加え下請企業の専門技術者の名前を刻む
⇒個人情報保護の観点より、希望又は了承を得た場合のみ
- 銘板の設置について、工事単位から構造物又は事業単位などへの拡大を検討中
⇒設置主体・費用負担・設置場所などについて検討中(ダム等の記念碑をイメージ)
- 業界団体において、女性技術者にスポットを充て取組みを展開中
⇒建設小町(日建連)、土木学会、全建等



「自信と誇り」を着る
ユニホームデザインプロジェクト
全国建設業協同組合連合会より



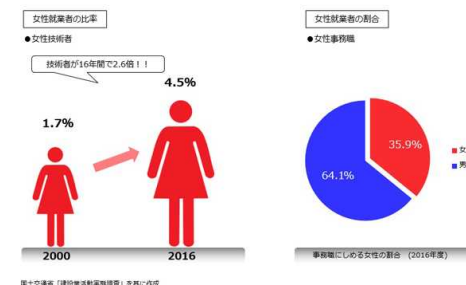
工事銘板と技術者

<更なる展開の拡大(案)>

建設分野で働く人々の「やりがい」向上を図るため、i-Construction 推進コンソーシアム企画委員会のメンバー等と話し合う場を設置

メンバー

- 有識者、国交省、業界団体、建設分野従事者(ベテラン及び若者代表)など
- テーマ
 - ・各参加者から建設分野で働く人々の「やりがい」に関する取組みの紹介
 - ・行政、発注者に求める取組み
 - ・今後の活動の展開



大手建設会社の女性技術者
けんせつ小町(日建連)より